

「Fukuoka Art Next」今月のアート(6月)

福岡市は、彩りにあふれたアートのまちを目指して、市民が身近にアートに触れる機会を増やし、アーティストの成長支援に取り組む「Fukuoka Art Next」を推進しています。

その事業の一環として、定例会見時に、福岡で活躍しているアーティストの作品を紹介します。

■アーティストについて

摩須大紀(ます だいき)

2002年、福岡市生まれ。2025年九州産業大学芸術学部芸術表現学科卒業。
在学中は西洋古典絵画の技法や構図を理論的・実践的に学ぶ。外部から得た感覚情報を絵画表現へ変換していく過程そのものに関心を持つ。2025年「Fukuoka Wall Art 賞 2025」入賞。

■作品について



作家名 : 摩須 大紀

作品名 : Layers of Being

制作年 : 2025年

材質技法: 油彩、キャンバス

サイズ : 72.8 × 51.5(cm)

まるで水の中に、男性の足だけが浮かび上がっているようです。博多祇園山笠の舁(か)き手達の足が題材で、祭りの様子や特定の人物は描かれていません。背景は曖昧ながらも、人の気配や歩行している動きや躍動感が、幾重にも重ねられた絵具を通じて伝わってきます。祭りの様相を知る人は、賑わいすら想像できるでしょう。

作家は、身体運動によって生まれる、言葉になる前の感覚や、気配そのものを絵画として表そうとしました。

【お問い合わせ先】

経済観光文化局美術館学芸課 担当: 渡抜

TEL: 714-6054 FAX: 714-6145

E-mail: watanuki.y01@city.fukuoka.lg.jp